

科目コード	N306
授業科目名	がん看護論
授業科目名(英文)	Oncology Nursing
講義室等	1105
学科	看護学科
対象学年	3年
開講学期	前学期
必修・選択の別	必修
単位数	1
時間数	30
該当ディプロマ	◎看DP-2
該当コンピテンス	◎看CP-3、○看CP-4、△看CP-5
学科	
対象学年	
開講学期	
必修・選択の別	
単位数	
時間数	
該当ディプロマ	
該当コンピテンス	
担当教員	永松 有紀
授業の概要	がんの病態生理・臨床経過、がん看護に関連する主要概念、ならびに我が国のがん医療を取り巻く社会動向について学び、根拠に基づいた看護実践に必要な基本的知識を修得する。とくに、がんの治療を受ける患者の療養過程に焦点を当て、症状への看護、セルフケア支援、生活への影響を踏まえた援助に加え、治療と生活の両立支援(就労を含む)について学ぶ。さらに、がん医療における倫理的課題、意思決定支援、多職種連携に関する理解を深める。講義・演習を通じて、がんとともに生きる人とその家族の療養過程に即した支援に必要な思考過程を培い、QOL向上を目指す看護の役割について考察する。
授業の到達目標 (学修効果)	1. がんの病態生理および臨床経過の特徴を説明できる。 2. 国内のがん医療を取り巻く社会動向ならびに主な制度の概要を説明できる。 3. がん看護に関連する主要概念を説明し、患者・家族支援における看護の要点を述べるができる。 4. がん治療(手術療法・薬物療法・放射線療法)の特徴を説明できる。 5. 療養過程を通じて、がん治療を受ける患者の症状マネジメント、セルフケア支援、ならびに治療と生活の両立支援の要点を述べるができる。 6. 小児・AYA世代・高齢者におけるがんの特徴を説明し、発達段階に応じた看護の要点を述べるができる。 7. がん医療における多職種連携の意義と、連携の中で求められる看護師の役割を説明できる。 8. 講義で学んだ内容を統合し、根拠に基づいて、がん患者・家族への支援について考察できる。
予習復習の所要時間	講義時間30時間(2時間×1コマ×15回)+予習・復習15時間
成績評価方法	e-ラーニング事前・事後テスト(20%)、課題レポート(10%)、筆記試験(70%)により、総合的に判定する。100点満点中60点以上を合格とする。
教科書	小松浩子他編「系統看護学講座 別巻 がん看護学」第3版 2022年(医学書院) ISBN:978-4-260-04216-1
参考書	
その他	第5回「がん治療と看護(手術療法)」の講義には、「急性期看護①概論・周手術期看護(成人看護学方法論急性期)」を持参すること。 第8回「がん薬物療法③」の演習には、系統看護学講座 基礎看護技術Ⅱ(医学書院)を持参すること

回	年月日	曜日	時限	授業項目	授業の形態	講師	非常勤	備考
1	R8.4.7	火	Ⅲ	がんの医療の現状とがん看護の対象	講義	永松 有紀		
				予習 がんの発生要因について調べておくこと				
				復習 学修目標の立案 (e-ラーニング)				
2	R8.4.14	火	Ⅲ	がん医療の動向と政策	講義	永松 有紀		
				予習 事前テスト (e-ラーニング)				
				復習 確認テスト (e-ラーニング)				
3	R8.4.21	火	Ⅲ	がん治療の概要、がん医療における倫理的課題、意思決定支援	講義	永松 有紀		
				予習 事前テスト (e-ラーニング)				
				復習 1～3回の講義の振り返り (e-ラーニング)				
4	R8.5.12	火	Ⅲ	がん治療と看護(放射線療法)	講義	松岡さなえ	1	
				予習 事前テスト (e-ラーニング)				
				復習 講義の振り返り (e-ラーニング)・知識の整理				
5	R8.5.19	火	Ⅲ	がん治療と看護(手術療法)	講義	永松 有紀		
				予習 乳がんの病態と治療について予習しておくこと				
				復習 確認テスト (e-ラーニング)				
6	R8.5.26	火	Ⅲ	がん治療と看護(がん薬物療法①)	講義	高野 清美	2	
				予習 事前テスト (e-ラーニング)				
				復習 講義内容の復習				
7	R8.6.2	火	Ⅲ	がん治療と看護(がん薬物療法②)	講義	高野 清美	2	
				予習 外来看護、薬物療法における看護について教科書の該当箇所を読んでおくこと				
				復習 講義内容の復習				
8	R8.6.9	火	Ⅲ	がん治療と看護(がん薬物療法③)	演習	高野 清美	2	
				予習 薬物療法におけるケアの実際について教科書の該当箇所を読み予習しておくこと				
				復習 講義・演習での学び (e-ラーニング)				
9	R8.6.16	火	Ⅲ	小児のがんと看護	講義	中村 恵美		
				予習 小児がんサバイバーの治療後の生活に生じる問題について考えてくること				
				復習 講義内容の復習				
10	R8.6.23	火	Ⅲ	がん看護の対象と場	講義	永松 有紀		
				予習 事前テスト (e-ラーニング)				
				復習 講義内容の復習				
11	R8.6.30	火	Ⅲ	がん患者における相談支援	講義	岩崎 玲奈	2	
				予習 がん患者の療養支援について教科書の該当箇所を読んでおくこと				
				復習 講義の振り返り (e-ラーニング)				
12	R8.7.7	火	Ⅲ	がん患者の苦痛に対する看護	講義	永松 有紀		
				予習 教科書の該当箇所を読んでおくこと				
				復習 講義の振り返り (e-ラーニング)				
13	R8.7.14	火	Ⅲ	がん患者に対する心理的・社会的サポート	講義	永松 有紀		
				予習 教科書の該当箇所を読んでおくこと				
				復習 確認テスト (e-ラーニング)				
14	R8.7.21	火	Ⅲ	がん患者の治療と仕事の両立支援	講義・グループワーク	細田 悦子	1	
				予習 教科書の該当箇所を読んでおくこと				
				復習 講義内容の振り返り (e-ラーニング)				
15	R8.7.28	火	Ⅲ	まとめ	講義	永松 有紀		
				予習 教科書第4章、第5章を復習しておくこと				
				復習 学修目標の到達度 (e-ラーニング)				